



アレルギーってなあに??

くしゃみや鼻水が止まらない、咳が続いてゼーゼー・ヒューヒューという音がして苦しい、しつこい湿疹…。

これらの症状は疾患が同じでも様々な原因があり、細菌感染・ウイルス感染のほか「アレルギーが原因」の可能性もあります。今回はアレルギーについてご紹介したいと思います。

アレルギーとは?



私たちの体には、ウイルスや細菌などの異物が入ってきた時、体内に「抗体」がつくられ、外敵をやっつけようとする「免疫」というしくみがそなわっています。

ところが、この「免疫」のしくみが、食べ物や花粉などに害を与えない物質に対しても「有害な物質だ!」と過剰に反応し、攻撃をしすぎる結果、マインスの症状を引き起こしてしまうのが「アレルギー」です。



IgE (アイジーイー) 抗体

アレルギーの原因となる物質を「アレルゲン」または「抗原」といいます。花粉・ダニ・ハウスダスト・食物・薬物など身の回りには多くの種類のアレルゲンがあります。どのアレルゲンに反応するかは人それぞれです。

アレルゲンは体内に入ってくると、これをやっつけようと「IgE抗体」というたんぱく質が作り出されます。この抗体は皮膚や粘膜などの表面にアンテナのように張りめぐらされていて、再びアレルゲンが侵入してくるとヒスタミンなどの化学物質が一気に放出されかゆみなどの症状があらわれてくるのです。

アレルギーには4タイプ

アレルギーには「I」～「IV」までの4つのタイプがあります。それぞれ免疫機構や抗体の種類などの違いによって発症する病気も違ってきます。

「I型」即時型」はぜんそくやアレルギー性鼻炎、「II型」細胞障害型」は血液の不適合による溶血性貧血、「III型」免疫複合体型」は血清病や関節リウマチ、「IV型」遅延型」は接触皮膚炎や移植拒絶反応というのが代表的な症状です。

アレルギーの原因は?

原因は日常生活の様々なシーンにあります。一番に食べ物が多く、花粉やカビなどの吸入しやすいもの、蜂などの昆虫、薬物等、原因となる物質や悪化要因はたくさんあります。

◇ 食べ物

鶏卵、牛乳、小麦、そば、ピーナッツなど、特定の食べ物を食べた時に起こります。

食べ物アレルギーは子どもにも多くみられるのが特徴です。成長段階の子どもの消化機能は未熟であり、アレルゲンであるタンパク質を小さく分解することができないのが一つの要因として考えられます。そのため、成長にともない消化吸収機能が発達してくると、原因食物に対して耐性がつく可能性が高いため、症状が改善される場合もあります。

◇ 蜂毒

蜂は巣を守るために外敵に向かっていく習性があります。人を刺す習性があるのはスズメバチ・アシナガバチ・ミツバチの3種類です。蜂に刺されたとき、かゆみや発赤(ほっせき)のような皮膚炎、または嘔吐や寒気などの症状を起こすことがあります。



◇ 薬物

原因となる薬物の多くは、ペニシリンなどの抗生物質、アスピリンなどの解熱鎮痛剤、抗てんかん薬の頻度が多く、また、検査に使われる造影剤、ワクチンや麻酔薬、輸血なども原因になりやすい傾向があります。



その他の原因として、天然ゴムやダニなど接触しやすいもの、合成着色料などの食品添加物などがあります。

最後に…

アレルギー疾患は発症の予防が何よりも大切です。病院で血中IgE抗体検査などを受け、原因アレルゲンを知り、避けることによりアレルギーはコントロール可能ですが、避けられないようなときには免疫療法や薬物療法を行って症状を誘発しないようにすることが大切です。少しでも気になる症状が続く場合は、早めの受診を心がけましょう。
【ファイザーアレルギーってなあに?】 JPHP】参照 (齋藤)

薬剤師急募!!

♪ 私たちと一緒に働く仲間を募集しています♪

詳細は
TEL 027-265-6110
担当;野口・柴田まで

